



発行
愛知縣中川中學校
愛知県立松蔭高等学校
同窓会
名古屋市中村区烏森町
2-2
TEL 052-481-9471
印刷
マツモト印刷株式会社

八十周年記念事業開催のお知らせ



同窓会会長

星野 行正

昭和48年卒(25回生)

謹啓 時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

実施します内容は、

一 八十周年記念大会

十一月六日 名古屋市公会堂

二 八十周年記念誌の発行

の、二事業です。

昨年初頭からのコロナ禍の中、医療崩壊を招かないようにと、度重なる緊急事態宣言が出されました。感染者数増加・減少に合わせ、宣言・解除が繰り返され、改善がされないとい延長される状況です。

マスクを着用し、三密を避け、ソーシャルディスタンスを保ち、ステイホームと、集団感染を起こさないという目的で、経済活動を抑えました。

そうした中で、学校との数度の協議、それを踏まえた、実行委員会での打ち合わせを通し、前記の二事業に留めることといたしました。

懇親会パーティーについては、実施予定のホテルとの

協議の結果、同窓生が、和気藹々と笑いながら懇談出来る場の設定が難しいと判断し、実施しないと決断しました。

何年かに一度会って、近況を報告しあったり、昔話に花が咲いたり、昔話の驚きの真実が知らされ、感嘆・笑いの輪が広がる、という場を思い描いていた方にとっては、申し訳なく思いますが、これも時期が時期だけに、お許し頂ければと存じます。

ここからは、私からのお願いです。
まず初めに、八十周年記念誌への賛助広告・賛助金の協力です。三万数千名からの卒業生約2万通の会報誌を送付させていただいております。当然、歴史ある松蔭高校卒業生として、社会のあらゆる場面で活躍しています。是非とも、活躍している現状を多くの同窓生に知らしめる場とお使い頂けたらと思います。

皆様のお名前が記載されることにより、あいつ頑張っているなあ と、近況を知らせることに繋がると思っています。

先回の会報誌でもご案内いたしました、まつかげ会の資力は非常に弱いのです。

より多くの方のご協力をお願いします。
同窓会の活動についてご報告します。

まつかげ会のホームページを新たに更新作成しました。

アドレスは、この会報誌の最終ページに記載されていますので、そちらからご参照ください。

従来は、住所等の変更の届出だけでしたが、少しずつ充実させています。

また、会員の皆様から、「同期会とか部活OB会の報告を載せて欲しい」とのご依頼があれば、対応できるようにになりました。

今後もホームページの内容を充実させ、皆さんとの距離を縮めていけるようにしたいと思います。

会員の皆様の住所管理について報告します。個人情報管理の点から、私一人で管理しています。

会報誌を2万通から送付しますと、約八百通が「宛先不明」で戻ってきます。

その内容を見ると、地名変更や地番変更での宛先不明での返却が多いです。

以前は、郵便局配達担当のご厚意で、旧地名地番であっても、新地名地番に配送していただきました。

現在は、地名地番が少しでも違えば、宛先不明で返却されます。

名簿管理する私は、新地名地番が分からないため、住所不明で送付先から除外します。

もし、ご友人の中で、最近会報誌が送られてこないといった方がいらつしやれば、ホームページからでもご連絡下さい、とお伝え下さい。

また、ファックスでの住所等の変更届けは中止いたします。

理由は、読み取りが不鮮明の場合、「不鮮明により再送してください」と返送しますが再送していただける方が少なく、会員の方に不誠実な対応をされていると思わせる結果に繋がるためです。

是非、ご理解下さい。

二つの八十周年記念事業を御案内すると共に、同窓会の活動状況もお伝えしました。

会員の皆様には、お願いすることばかりとなり、百周年事業に向けて、八十周年事業がより良いスタートになるよう多くの皆様のご協力をお願いします。

先の見えぬコロナ禍ではありますが、皆様の益々のご健勝を祈念し挨拶とかえさせて頂きます。

有難う御座いました。

謹白

ご挨拶
着任にあたって



校長
渡邊 修

このたび前校長の戸倉隆先生の定年によるご退職にもない、この4月から本校の校長に着任いたしました。よろしくお願いたします。前任は、お隣の中村高校でしたので、区内中学校の校長先生方との懇談会などで松蔭には何度も伺っていました。また、20年ほど前になりますが、教諭時代には練習試合をお願いして、松蔭の体育館に頻繁にお邪魔させていただいたことも鮮明に覚えています。当時、バスケットボール部の顧問であった服部保孝先生（後に本校の第23代校長として着任されました）には現在も大変お世話になっており、何か不思議なつながりを感じています。以前より松蔭高校には、「伝統に裏打ちされた文武両道の校風を持ちながらも、時代に求められる学校教育のあり方を的確にとらえ、カリキュラムにも特色を打ち出して教育活動の改善に取り組み続けている学校」という印象を持っていました。校長として着任するにあたって、懐かしさやうれしさと共にとても身の引締まる思いです。これまで本校の充実・発展のため、陰に日向に支えてくださった先生方や地域の方々、同窓生の皆様に感謝し、その歩みをしっかり見つけて活力ある学校づくりに心がけていきたいと思っております。

さて、この機会に皆様への問題です。次の文中の「生

物X」とは何でしょう？

『母体に、その10000万分の1ほどのサイズの「生物X」が寄生して急増殖し、高熱を発した母体を死に至らしめる』答えは、「ウイルス」でもあり「人間」ともいえます。「人間」を答えとした場合の母体は地球。地球の直径を約1万キロとし、人間はしゃがんだイメージで約1mとしました。いわゆる地球温暖化で、その住む母体に大異変をもたらして自らの首を絞めています。ウイルスに対して我々一人ひとりが唯一無二の存在であるのと同様、地球を巣くった先に移住すべき代わりとなる天体はいまだ見つかっていません。今回のコロナ禍は、己の愚かさや十分自覚しようとしていない人類への警鐘でもあるといえます。すでに1℃ほど上昇している世界の平均気温は、今後2〜3℃上昇するかもしれないといわれています。もう、温暖化以上の高温化といえます。人ならば2℃体温が上がれば立っていられないほどの高熱です。このままであれば異常気象はさらに激化し、巨大災害の頻発で人類は滅亡の淵に立つことになるに違いありません。確かに、コロナショックによる産業・経済の立て直しは急務であり、多くの人々が死活の苦境にあるわけですが、そのような犠牲を伴わない形で「温室ガス排出を抑える世界の実現」という課題が突き付けられているのです。「新しい生活様式」を定着させようとする声が高まっています。ウイルスとの共存を覚悟できるのであれば、地球高熱化という異常事態を直視できる人類であると信じたいところです。（広瀬裕一「教育の危機管理」週刊教育資料…2020・6・15）

ご紹介した内容は、上越教育大学名誉教授の広瀬裕一

先生の教育誌への投稿から引用したものです。世の中がコロナ禍にある中、生徒自身も「自分は急激に変化する予測不可能な社会に生きている」ことをリアルに理解し、様々なことを思考することに迫られています。我々教職員はこの状況をあえてチャンスととらえ、「こうした社会で自分ならどう生きたいのか、何が課題なのか、どうすれば解決に向かうのか」などを生徒自身にも考えさせていくことが大切だと考えます。例えば、前述した「物体X」の資料などを参考に、これからの未来を担う生徒たちが世界で起きている問題を「自分ごと」ととらえることが大切です。自分たちができる行動を具体的に考えるなど、社会と自身とのつながりを意識した学びの中でこそ、生徒は自身の力で人生や社会をより良くできるという実感を持つのだと思います。松蔭高校では今年度、職員組織として新たに研究部を立ち上げ、そうした探究活動を授業に取り入れるための協議をスタートしました。

この2021年は、本校にとって次の10年に向けた新たな幕開けの年といえます。あらためて、校訓「磨く拓く翔く」のもと、確かな学力を備え、明朗闊達で、多様な人々と協働して学ぶことのできる健全で品位のある人間の育成を期して、「部活動の盛んな進学校」の旗を掲げて教職員、生徒一丸になり新しい一歩を刻んでいく所存です。同窓会の皆様方には、今後とも変わらぬご指導、ご支援をお願いいたします。



学校近況報告



教頭

大橋 一幸

(松蔭36回生)

令和2年3月から現在に至るまで、新型コロナウイルスに翻弄されている。本校に関することとして最も大きな影響が出たことの一つが、「松蔭高校創立八十周年記念大会」の延期である。開催予定時期から半年前に結論が出された。折しも東京五輪が一年延期を決めた直後のことであった。

昨年度実施された、長寿命化改修工事も2月末によく修了した。職員室などは床や壁が塗り直されてきれいになった。私たちが高校生だった時分には部長会議などが行われていた会議室は、「アクティブラーニングルーム」として生まれ変わった。南面を除く三方にホワイトボードを取り付け、机は長机から、形体を自在に変更できるミーティングデスクに変わり、「主体的・対話的で深い学び」の実践がより可能となった。コロナ禍でICT環境の整備は思った以上に進み、生徒用のタブレット、60型の大型モニター、各教室に一台ずつプロジェクトも配備された。本館改修工事とコロナ禍によって、生徒を取り巻く学習環境は大きく変わった。

コロナ禍の影響は至るところに出ている。体育館では、「密」の状態を避けるため三学年がそろつような行事は未だできずにいる。学期ごとの始業式・終業式、朝礼などは放送で行うことが常となった。体育祭は生徒会執行部と生徒会部の教員が工夫を重ね、規模こそ縮小はした

が、何とか実現することができた。秋の学校祭は、昨年度から平日の二日間で実施し、一般公開は実施できないでいる。

コロナ禍とは関係のない話題も一つ。三月の高校入試では入学定員が三百二十名で定員減となった。にもかかわらず、志願者は前年度より増え、志願倍率が上がった。うれしい悲鳴である。

明るい話題として、昨年度の部活動では女子バレー部が名南支部選手権大会で優勝した。陸上部は愛知県高校新人大会男子百mで優勝、男子二百mで二位、男子五千m競歩で二、三位、男子円盤投で五位となり男子総合第四位（公立高校では最上位）の成績を納めることができた。和太鼓部は愛知県高等学校総合文化祭で県代表の座を勝ち取り、六年連続の全国大会出場を決めた。

今年度の愛知県高校総体では体操部が女子団体の部四位入賞、陸上部も個人四種目で入賞し、うち三種目で東海総体進出を決めた。

東海高校総体において木下凌輔君が百mで二位、二百mで四位となり、七月末に福井県での全国高校総体に出場します。五千m競歩では足立真崇君が九位と健闘しました。

学業の面では、愛知県教育委員会より「あいちラーニング推進事業」の研究指定を受け、来年度から始まる新教育課程に向けて、「総合的探究の時間」の教材開発などに余念がない。

近況とは異なるが、最後に、愛着のある校舎を回っていて、お気に入りの場所のひとつ、二号館の昇降口について。南側のステージのようなスペースは、高校時代に陸上部の友人らがLTの時間に行う出し物「祇園精舎」のリハーサルをしていたところで、クラスが違ってもその様子を大変面白く見ていた。今も脳裏に焼き付いており、ここに来るたびに思い出す。

「創立80周年記念誌」 発刊のお知らせ

80周年記念誌送付をご希望の方は、2,800円（送料・代引き手数料込）となります。

購入ご希望の方は、同封のハガキにて、お申し込み下さい。

なお、80周年記念大会にご参加の皆様にはお渡しします。

愛知県立松蔭高等学校
創立80周年記念誌

松蔭

Shoin
80th
Shoin High School 80th Anniversary

80周年事業

80年という時代を繋ぐ、80周年にという時に身を置いた、OB 在校生から伝えたい思いがここにある。

昨年の80周年事業は、コロナ禍により、今年2021年に順延し開催します。

内容については、ぎりぎりまで考慮した結果、名古屋市公会堂での80周年記念大会と、80周年記念誌の発刊にとどめるということに決めました。

多くの会員の皆さんとお目にかかる機会となるパーティーについては、時期が許すまで開催を見送る事としました。

名古屋市公会堂で行なう80周年記念大会については、生徒さんへのリスクを減らすために学校側と協議を行ない、時間を1時間半以内とする2部制とします。

1部（午前9：30開始）は、3年生は1階席、卒業生（まつかけ会会員）は4階席。

1部の記念大会は、式典形式の進行ですが、注目の高い迫力ある和太鼓部の演奏をご堪能下さい。

午前中は、和太鼓部による「たたなづく」という新しい演目を用意しました。

過去、広島・宮城・長野・佐賀・高知 そして今年のと歌山と、6年連続全国総文に出場し、一度は、東京の国立劇場にて演奏を果たした、神楽太鼓組曲「祈り」に続く演目として注目を集めることとなるでしょう。

映画上映会 ※1部終了後、2部にて講演致します卒業生 榎原有佑氏が原案・監督・脚本を担当しました映画「栞」を上演します。

2部（午後1：30開始）は、1・2年生は1階席、卒業生（まつかけ会会員）は4階席。

2部では、卒業生 榎原有佑氏(平成17年卒、57回生)による講演です。

理学療法士として患者さんと向かい合う実体験から、映画「栞」（主演 三浦貴大）原案・監督・脚本を担当し、2018年10月に公開されました。

困難に立ち向かう強い心の持ち主、逆になってしまう弱い心の持ち主。

そうした心から発せられる患者の言葉・行動と、「自分が何ができるのか」という自らの職務との狭間で起こる葛藤。

半身不随となったラグビー選手と、彼のリハビリを担当する理学療法士として、周囲の人々と向かい合いながら成長する姿を描いた人間ドラマです。

理学療法士から、新進気映画監督へと転身した榎原有佑氏が、生徒にどんなエールを送るのでしょうか。



榎原 有佑 (H17年卒 57回生)
AND Pictureinc 映画監督



まつかけ会会員の方は、4階席をご利用下さい。
ご入場にあたり、参加費2,000円をお支払い下さい。80周年記念誌を差し上げます。

大会の参加ご希望の方は、同封の返信ハガキにてお申し込み下さい。
当日、1部2部両方ご出席いただくことも可能です。

*たたなづく

枕詞 幾重にも重なっている意。「青垣」「青垣山」にかかる。

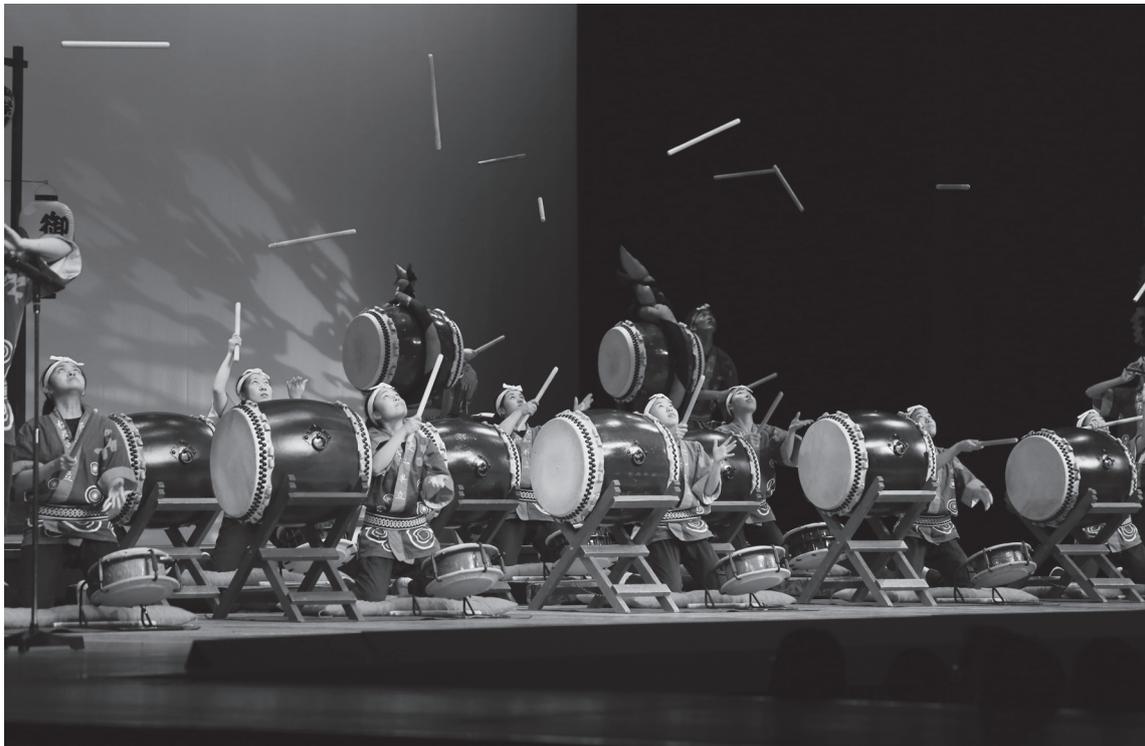
古事記 景行

「倭（やまと）は 国のまほろば たたなづく 青垣（あをがき）山 ごもれる
大和し美し」

万葉集（作者不詳）

「たたなづく 青垣山の 隔（へなり）なば しばしば君を 言問はじかも」

進行は現在の案であり、当日の進行を約束するものではありません。



神楽太鼓組曲「祈り」
国立劇場にて

賛助広告掲載のお願い

愛知県立松蔭高等学校創立80周年記念誌 賛助広告を募集します。

拝啓 盛夏の候 益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は格段のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

1940年に中川中学の創立から松蔭高校へと、2020年に80周年を迎えました。

直近10年の活動を中心に、創立からの歴史が掲載された80周年記念誌を発行します。

A4(全段 1/2段、1/4段)、名刺サイズ、賛助の御氏名のみ と皆様のご支援を幅広い範囲をご用意させていただきました。

賛助広告にご協力いただけました方には、80周年記念誌を進呈します。

お申込みは、まつかけ会ホームページ賛助広告のコーナーの指示に従って申し込み書類をご活用下さい。

広告ご協賛の旨をご理解いただき、より多くの皆様よりご支援をお願い申し上げます。

申込み締切は、令和3年8月10日となります。

敬具

愛知県立松蔭高等学校同窓会まつかけ会

広告について、ご不明な点がございましたら、副実行委員長 林 克仁 (katsuhito55@gmail.com) までお問合せ下さい。

F 枠ネーム広告は掲載内容がお名前に限られます

松蔭 太郎

F 枠見本

横 88mm × 縦 10mm

(枠内文字中央合わせ)

F 枠 / ネーム広告 (名前のみ)

もごさいます。

モノクロ 10,000 円

賛助広告掲載のスペース

- ①. プラチナ A4 1ページ
カラー 200,000円
- ②. ゴールド A4 1ページ
モノクロ 100,000円
(縦260mm×横180mm)

⑤. 一般 名刺サイズ
(縦52mm×横90mm)
モノクロ 20,000円

⑥. 賛助 氏名のみ 10,000円

- ③. シルバー A4 1/2ページ
(縦130mm×横180mm)
モノクロ 60,000円

A4 全面 ①②

A4 1/2 ③

①
②
③
④
⑤
⑥
の6通りの
パターンがあります。

- ④. ブロンズ A4 1/4ページ
(縦65mm×横180mm)
モノクロ 30,000円

A4 1/4 ④

ご不明な点がございましたら、下記事務局までご連絡下さい。
担当者：80周年記念事業 副実行委員長 林 克仁
連絡先：katsuhito55@gmail.com

広告料のお支払いについて
下記の金融機関までお支払い下さい。なお、振込手数料はご負担願います。
振込先 大垣共立銀行 名古屋支店 口座番号 1005450
振込先名 まつかげ会創立80周年記念大会実行委員会

皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

部活動奨励賞 女子バレーボール部

この度は部活動奨励賞という名誉ある賞をいただき、心より感謝申し上げます。副賞はユニフォームの新調や球出しの時に使用する台の購入に使わせていただきました。ありがとうございます。

私たち女子バレーボール部は、「周りから応援されるチーム」を目指して日々練習に励んできました。夏の県大会はコロナウイルスの影響により中止になってしまいました。この大会は、私達を一層成長させるきっかけとなったと思います。そして、一人一人が仲間とバレーをする時間を大切にしてい互いに努力してきた結果、昨年12月に行われた名古屋南支部選手権大会では優勝という成績を収めることができました。このことは大きな自信になりました。

今までと同じようには活動できない状況ですが、私たちの練習のために尽力して下さっている先生方や保護者の皆様、支援して下さっている卒業生の方々、本当にありがとうございます。皆様の応援が、私達の勝利に大きく繋がっています。練習試合や大会などを観戦していただけないことは寂しいですが、多くの方々がサポートして下さっていることを忘れずにさらに高い壁にも挑んでいきます。

これからも、松蔭高校の名を背負う一員として、部員一丸となってよりいっそう精進していきますので、応援よろしくお願いいたします。

部活動奨励賞 陸上競技部

この度、同窓会の皆様より部活動奨励賞を頂けたことを厚く感謝申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染拡大でインターハイの中止により多くの卒業生が悔しい思いをしました。陸上競技部の部員もインターハイ予選で最高のパフォーマンスをすることを目標に必死に努力してきましたが、成果を出すことも叶わず、複雑な思いが残るそんな最後となっていました。6月からは多くの方の御協力と御理解もあり、少しずつ活動することができました。活動が再開されたときに、「走破一心」のスローガンのもと最後の試合ができなかった先輩たちの想いをもって競技に取り組みもうと決めました。秋に開催されました愛知県新人大会では、男子100mで優勝、男子200mで準優勝、男子500mで準優勝、3位、男子円盤投で6位、男子総合4位と結果を残すことができました。東海大会は実施されませんでした。実施されていたら4名もの選手が東海大会に出場していたというような結果でした。

今までとは異なる環境の中で、それまでの生活や活動がどれだけ恵まれていたのか、当たり前前の生活がいかに幸せであったのかを感じました。そうした想いから、日々の練習に真剣さが現れ、結果につながったのだと感じています。

現在は愛知県総合体育大会に向けて必死に練習に取り組んでいます。しかしながら、未だにコロナウイルスの脅威は収まりません。できる限りの感染対策を行っているとはいえ、部活動の実施自体、社会全体からは厳しい目向けられていると思っています。活動させてもらえないことに感謝し、応援される集団であり続けるために、松蔭高校の代表として自覚と責任をもって行動していきます。これからも陸上競技部への応援をよろしくお願います。

今年度松蔭生の進路実績

今春の松蔭高校の大学入試結果をご報告致します。国立大合格者は、83名（現役78名、浪人5名）でした。名大、名工大、愛教大、愛県大、名古屋市大、岐阜大、三重大など地元大学のみならず山形大、金沢大、富山大、福井大、鹿児島大、琉球大など東海地区以外の全国29の国立大に合格者を出すことができました。ここ数年では一番多くの現役生が国立大に合格しています。また超難関校である東京外国語大に合格することができた現役生もいます。学校推薦型選抜入試および総合型選抜入試を利用して国立大に合格できた受験生も多くいます。この入試は学力だけでなく、高校生活で何をしたら、何を学んだかが評価される入試です。私立大は、関東関西の難関大、南山大、愛知大、名城大、愛知淑徳大、金城学院大、椋山女学園大など地元の有名私立大に多数の合格者を出すことができました。特に今年は大学入試共通テストを利用した入試で合格できた受験生が多くいます。これらの結果は松蔭生が「部活動が盛んな進学校」という松蔭高校の校風のもと、授業をはじめ部活動や行事などの高校生活を大切にすることができた成果だと感じています。より詳しい進路結果は、本校のホームページで御確認ください。

今年度は、大学入試共通テストなどの新入試とコロナ対応が重なり、入試情報が次々に変わり受験生にとって混乱の入試となりました。幸い松蔭高校では、ほとんどの生徒が大きな混乱をすることがなく受験することができました。今後の入試も思考力・判断力・表現力を問う問題を出題する傾向が続きます。高校生活を大切にして全科目バランスよく取り組んだ受験生がより合格できる入試になっていくと予想されます。日頃の授業に受け身ではなく主体的に参加し、家庭学習の中でじっくりと考える習慣を身につけることが、今後ますます大切になってきます。

まつかけ会事務局

改姓 住所変更 等のご連絡時に、送付された住所・氏名の
上部に記載されている

例 (昭48高F) (平12高3) を必ずご記入ください。

また、同級生・同窓生で、町名 地番が変更になり、届かなくな
ったという方がいらっしゃいましたら、メール、郵便 等
でご連絡頂こうお伝えください。

(宛先不明との理由で大量に戻ってきました。)

同窓会(まつかけ会)HP <http://matsukage.aichi-shoin.jp/>

事務局／同窓会会長

星野行正

〒453-0812

名古屋市中村区西米野町 1-76-5

学校に事務局は有りませんので連絡は郵送にて
会長宅へお願いします。

『まつかけ会年会費』振込みご協力のお願い

『まつかけ会』会報は皆様方の年会費で発行されています。
何卒御協力をお願い申し上げます。

- ・まつかけ会年会費 3000円
- ・住所変更等の受付はコンビニではできませんので郵便局をご利用ください。
- ・コンビニでの振込期限は2022年2月末までです。郵便銀行は期限は有りません。



000-0000

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇

松蔭 太郎 様

004846#

004846

「まつかけ会」事務局 星野 行正
〒453-0812
名古屋市中村区西米野町1-76-5



※ **この部分を
必ずご記入ください!!**



同 窓 会 幹 事 <松蔭78回>



1組

◎木村 香凜
○草川 愛惟

2組

伊藤 駿
木村 嘉稜

3組

照井 毛毛
豊島 和希

4組

高井 淳平
山口 陸斗

5組

内野舜一朗
ト部聖紫瑠

6組

志村 瑠海
中里 脩人

7組

高見 凌生
濱崎 建太

8組

小出 萌奈
野田愛央衣

9組

小林 稜果
箕浦 春輝

(敬称略・◎学年代表、○は副代表)

提出日 月 日

氏 名
(旧姓)

住
所
変
更
届

卒業年度

昭和
平成
令和 年

普通
商業

組

新住所

電話 () -

旧住所

以上をご記入の上、同窓会事務局に郵送。

郵送先

愛知縣中川中學校 同窓会「まつかけ会」
愛知県立松蔭高等学校
会長宅 星野行正
〒453-0812 名古屋市中村区西米野町 1-76-5